

## 分断都市・脆弱都市から多様性が尊重される包摂型レジリエント都市へ 第11回 東アジア包摂都市ネットワーク(EA-ICN)・ワークショップ プログラム

### ◆23日

9:00~9:20 受付・参加者登録

9:20~09:30 歓迎の挨拶：大阪公立大学都市科学・防災研究センター所長 重松 孝昌

総合司会：大阪公立大学 野村 恭代

09:30~11:30:

Session 1：各都市における社会的弱者の現状と支援政策や実践経験の理解と共有（20分×4本）【同時通訳：ハイブリッド】

コーディネーター：国立台湾大学(National Taiwan University) 黄麗玲(Liling Huang)

1. 香港のコロナ禍におけるホームレスの人びとのリスクと機会(The Risks and Opportunities of Homeless in Hong Kong under the Coronavirus Outbreak)、SoCO (Chung Yin Chan)
2. 元住民の観点から見た反貧困対策としての所得ミックス賃貸住宅：台北市社会住宅団地の建替え事例 (From original tenants' perception to examine mixed-income as an anti-poverty solution—a renovated social housing community in Taipei、前 OURs 社區規畫師 陳涵光 彭楊凱(CHEN, HAN-KUANG, Former community staff, The Organization of Urban Re-s)
3. 居住弱者層への居住支援事業の実践経験の報告(Moving vulnerable persons from substandard accommodation to suitable housing: achievement and challenges)、ソウル住宅都市公社龍山住居安心総合センター イ・ウンジョン((SEOUL HOUSING WELFARE CENTER-YONGSAN, LEE EUN CHOUNG)
4. コロナ禍で浮かび上がった女性・シングルマザーの貧困～シンママ大阪応援団がこの2年半やってきたこと～、シンママ大阪応援団 寺内順子

11:30~13:30:

Session 2：災害に強い都市とレジリエンス（20分×4本）【同時通訳：ハイブリッド】

コーディネーター：大阪公立大学 生田 英輔

1. 香港のコロナパンデミック期間中のホームレス支援におけるレジリエンス(Resilience in Homeless Services during COVID-19 in Hong Kong)、CCHA (Olivia Chan)
2. 台湾のコロナ19下における3段階警報に対するホームレスの情緒、知覚、及び行為：行動研究の事例(The Attitude, Perception, and Behavior toward COVID-19 Pandemic of the Homeless during the Lockdowns: Findings from A Participatory Research in Taipei, Taiwan)、Li jia ting/Homeless Taiwan Association/social worker(李佳庭/ 台湾芳草心慈善協會社工師)、Yueh WANG/Homeless Taiwan Association/Volunteer(王悦/ 台湾芳草心慈善協會志工)、Cheng Wei-Chunan / National Changhua university of education/ Ph. D. Candidates(程威銓/彰化師範大學/博士候選人)
3. ドニドン住民のコロナ19への対応経験と課題(Chokbang residents' experience and issues for supporting under COVID-19: the case of Donui-dong)、ドニドン住民協同会 キム・ソニ(Donuidong Residents Organization, KIM SUNHEE), チェ・ボンミョン(Donuidong Residents Organization, CHOI BONGMYUNG)
4. 子ども、親、社会と作る「レジリエントな未来」、出水真由美 (ママコミュ！ドットコム 代表)

▲ 会場：大阪公立大学学術情報総合センター文化交流室

大阪市大阪市住吉区杉本 3-3-138 (学術情報総合センター 1階)

現地視察及び事例報告(16:30~18:00)

(案内：多文化ふらっと)

報告：(30分×1本) および現地視察【逐次通訳】

IKUNO コーライズパーク(旧御幸森小学校)

「校跡地を活用した多文化共生のまちづくりに挑戦する」

NPO 法人 IKUNO・多文化ふらっと 理事・事務局長 宋悟

### ◆24日

現地視察及び事例報告② 9:30~12:00

報告：(30分×1本) および現地視察

「地域の継承語教室が社会にもたらすもの～ようこそルーツ語教室へ～」、藪田直子(大阪成蹊大学)

▲ 会場：八尾市立安中人権コミュニティセンター

14:00~16:00 : Session 3 :都市におけるダイバーシティと難民・移住者等外国籍住民との共生の課題 (20分×3本) 【逐次通訳】

コーディネーター：八尾市・包摂都市ネットワークジャパン代表 網中 孝幸

1. 学校空間の教育及び社会福祉空間としての転用例について-台北市忠義小学校を事例に(From shrinking school to complex park with education and local welfare in low birthrate society: pioneer case from Zhongyi Elementary school)、台北市忠義國小学校 校長 黃志勇(Jhieh-Yong HUANG, President, Taipei Municipal Zhongyi Elementary school)
2. 移住女性の自立のための Talk-to-Me による活動、コロナ 19 その後(Activities of Talk-to-Me for migrant women's self-reliance after COVID-19)、Talk-to-Me ペララ イレシヤ(TALKTOME, PERARA IRESHA)
3. 「浜松市在住フィリピン人支援と多文化共生社会の実現に向けたイリピノナガイサの実践」、NPO 法人フィリピンナガイサ 松本義一

◆25日

現地視察及び事例報告③ 9:30~12:00

報告：(30分×1本) および現地視察(堺市の事例：泉北ニュータウン)

(案内：一般財団法人泉北のまちと暮らしを考える財団：小学校跡地のコミュニティスペースの設置運営。みんなの公共冷蔵庫(食品ロス対策、生活困窮者への支援)の運用等)

Session 4: 14:00~16:00 :都市ネットワーク会議

コーディネーター：世宗大学校(Sejong University) 金秀顯(Kim Soo-hyun)

報告：(20分×4本) 【同時通訳：ハイブリッド】

1. 軍人賃貸住宅の跡地を活用したフードバンクと共有スペース(From vacant veteran home to food sharing park) ゼンジョン(臻侑祥)社会福祉協会理事長 ファン・フジョン(方荷生、He-sheng Fang)
2. デジタル格差と排除されないスマート包摂都市城東の事例(Beyond digital divide and alienation: the case of smart-inclusive policy in Seongdong-gu, Seoul)、ソウル市城東区スマート包摂都市局長(Director of Smart Embracing City) ムン・ソンス(MOON SUNGSU)
3. インターカルチュラル・シティ浜松の取組  
～誰もが活躍できる多文化共生都市・浜松の実現に向けて～、浜松市企画調整部国際課 主幹 古橋広樹
4. 大阪市生野区の学校跡地を核とした異和共生のまちづくり、大阪市生野区長 筋原章博  
会場：大阪公立大学中百舌鳥キャンパス A4棟402室

◆26日 インクルーシブシティ研究会・第2回年次研究大会【逐次通訳：ハイブリッド】

会場：大阪公立大学杉本キャンパス学術情報センター1階文化交流室

【1】10:00-12:00

コーディネーター：九州大学 コルナトウスキ・ヒュラルド

1. SJS (James Leung) The Challenges and Insights of Service Development for the Homeless in Hong Kong during the 5th Wave COVID Pandemic
2. 中山 徹・湯山 篤 (大阪公立大学) 「日本における居住不安定者層に対する居住支援の現状と政策的課題」
3. 社会福祉が社会住宅といかに連携できるか：空間及びケアを対象にした分析  
How social welfare can be connected with social housing: an analysis of space and care targets  
リュウ・ウェイチェン(台湾社会福祉総盟研究員 劉威辰、Wei-Cheng Liu, research fellow, Taiwan Social Welfare League)
4. 地域共同体開発コンフリクトと青年活動(Community Re-building Activities Beyond Social Conflicts in Changwon, South Gyeongsang, Korea)、ソウル大学校環境大学院 チェ・ヒジン(Heejin Choi)
5. 孫琳(同志社大学) 「イコール・フットイングから社会福祉法人の存在意義を問い直す」
6. 市道 寛也 (大阪市立大学) 「多様な人々を育む地域活動の活力の要因を探る一舂労働者が集住していた大阪港周辺地域の歴史を起点として」

【2】13:00-16:00

コーディネーター：広島文教大学 川瀬瑠美

1. Geerhardt Kornatowski (九州大学) 「Inclusivity through care infrastructures: A focus on transitory workers in the Fukuoka city-region」
2. 坂本 知壽子 (大阪公立大学) コロナ禍で多文化を横断する子どもたち：「今、ここ」にいるコミュニティ・メンバーへの教育支援を考える
3. 楊 慧敏 (同志社大学) 「外国にルーツをもつヤングケアラーの支援体制に関する研究」
4. 居住貧困とキャリア開発:台湾の青年への研究  
Housing poverty and career development: a study on young adults in Taiwan  
国立台湾大學建築與城鄉研究所 黃麗玲、劉恩英、朱穎芃、菅沼毅、曾柔慈
5. 公共遊休空間を活用した官民協力 空間福祉：ソウルハウジングラボ  
(Public-Private Partnership's Place-based Welfare using unused public space; through the case of the Seoul Housing Lab)、ソウルハウジングラボセンター長 キム・ミョンフン